

議

長　　ここで、9月30日の任期をもって議員をおやめになる方がいらっしゃいますので、御挨拶をお願いいたします。なお、写真撮影については許可してありますので、御承知おきください。

最初に、7番議員の鍵和田貴実代君から退任の御挨拶をお願いします。どうぞ、壇上へ。

7 番 鍵 和 田　　何を話していいやわからないのですが、まず、簡単に私が議員になぜなったかと申しますと、私の今、21歳になる子供が生まれたときに、筋ジストロフィーという難病でした。そのときに東京、それから横浜等々で手術、手術、入・退院を繰り返して、これを持って行けば、この書類を持って行けば、そちらの役場で医療費は無料ですよということで、それを持って役場に来たところ、うちの町ではやってないのよ。この辺はどこでやってると言ったら、この辺はね、南足柄が来年からやるのかな。うちはまだまだですよといったときに、私は実際、本当に父がおりましたので、父に泣きつき、大金を払っていただき、私は払うことができたんですが、そのときに、もしこれが夫婦で共働きのときにはどうしたらいいんだろうと。そこで考えたのが、じゃあ高齢者はどうなんだろうかとやったときに、本当にいろんなものが今みたいになかったんですね。いろんなことで私も役場に通り、町長にもいろいろお話を聞き、やったんですが、なかなか進んではいけないというところで、私も、では自分で議員になって何かしら変えていったらいいんじゃないかということで、まず出ました。それがまたまた小さな子がいるのに、お母さんなのに、子育てほっぽって議員に出てどうなのよ。そんなうわさが飛び交い、やはり一度は落ちました。その4年間の屈辱、本当に頭を下げながら、ありがとうございますと、次にお願いしますを4年間。そして、次のときには当選させていただきましたけれど、それから16年です。本当に皆さんの力をいただいて、皆さんに福祉のこと、いろいろお願いをしてきました。今では県内でも本当にもうすぐれたところまできている福祉の松田町、今では松田の福祉がいいからといって、他町から来てくれるお母さん方もふえてきました。私のお願いです。ぜひこの福祉を火を絶やさずに、これからももっと私がやってきたこと、それを皆さんに続けていていただきたいと思います。私はこの松田町で子供を生かしてもらいました。そ

して私が福祉をやってこれたのも、子供のおかげだと思っております。そして、それを皆さんと一緒にここまでやってきてくださったこと、これは議員の皆さんと、そして執行者の皆さんと、本当にそのおかげだと思っております。本当にありがとうございます。これから、まだ議員をやめても、庁舎にどんどん通わせていただいて、福祉のことをやっていきたいと思っておりますので、それを皆さんにまた協力をしていただきながら、どうぞよろしく願いいたします。本当に今までお世話になりました。ありがとうございました。（拍手）

議

長 続きます、1番議員の廣瀬幸男君の退任の御挨拶をいただきたいところで、体調不良のため欠席されておりますので、健康が回復されますようお祈り申し上げます。

最後になりましたが、私も今限り退任をいたしますので、挨拶をさせていただきます。20年間、私は本当に職員にも恵まれました。議員の皆さんにも恵まれました。ですから、議員になって2年目に湯の沢団地で約、あれは秦野市の二宮市長、当時の副市長、2代にわたってですね、やって、何とかあれを、平野町長からの指示で…指示というよりも、お話で、あれを湯の沢団地の上下水道、それから水道料金、全て秦野市が管轄するという、でき上がるまで10年かかりました。これが議員になって2年目の仕事です。それから始まって、いろいろな仕事ありましたんですが、先ほど今、一番思い出になりましたのは、多々ありますが、11番議員が言われましたあれが痛烈な思い出がある。第三セクターを使って、その当時の参事が何と言ったか。うんともうけて、うんともうけて、その売り上げの余剰金を町財政を潤すために持ってきましょうと。それで私たちは議員になって最初の年です。ころっとだまされて、やられた。本当に緻密な計算がないと、あれ以来ずっと赤字です。本当にこれは職員の皆さんには何年赤字になっているかって、もう一度考えていただきたいと思っております。少し余談が入りましたんですが、本当に議員の先輩、同僚、また後輩の方にも恵まれ、また執行者初め職員の方にも大変恵まれて、本当にあちこちで好き勝手なことをさせていただきました。それも皆様の御支援と、それから友情と、それからいろいろな御助力があったればこそだと感じております。一つ一つ思い出しますと、1人で3時間もしゃべるようになりますので、この辺で打ち切

りますが、何しろ皆さん、ますますの議会の発展と皆様方の御健康を祈念いたし、また松田町のますますの隆盛を祈念いたしまして、退任の挨拶とさせていただきます。本当に20年間、長い間ありがとうございました。（拍手）

これをもって本定例会は閉会とさせていただきます。8日間にわたり慎重なる御審議、ありがとうございました。第3回松田町定例議会、閉会といたします。御苦労さまでございました。 (16時58分)

この議事録は事務局が作成したものであるが、その正確なることを証するために署名いたします。

平成 年 月 日

松田町議会議長 菅 谷 一 夫

署名議員 8番 齋 藤 永

署名議員 9番 鈴 木 眞 徳